

巻 頭 言



栃木県知事 福田 富一

「世界から選ばれるとちぎ」を目指して

感染症の拡大やデジタル技術の発展等が人々の意識や行動、価値観等に変化をもたらす中、少子高齢化に伴う人口の減少や国内市場の縮小など、企業等の活動を取り巻く環境は大きく変化してきております。

このような中、本県では、令和3～7年度を推進期間とする「とちぎ国際戦略」を策定し、「世界から選ばれるとちぎ」を目指し、「グローバル展開の促進」「外国人観光客の誘客推進」「国際交流・協力の促進」「多文化共生の推進」を4本柱に据え、本県の国際化を推進しております。

本戦略では、本県産業の強みや現地市場の状況等を踏まえ、東アジア、東南アジア、米国を重点エリアとした上で、グローバル展開や海外誘客に関する施策を総合的に展開することとしましたが、本県におきましても、令和2年2月に新型コロナウイルスの感染者が県内で初確認されて以降、様々な活動が制約を受けることとなりました。

そこで、こうした状況下にあっても本県の国際化を前へと進めるべく、各国・地域の大使館等に私自らが出向き、駐日大使等に対して本県の魅力・実力をPRする「とちぎ型大使館外交」を開始したほか、オンラインによる海外バイヤーや旅行会社との商談会の開催など、デジタル技術を活用した事業にも取り組んで参りました。

また、感染症の動向に細心の注意を払いつつ、昨年12月にはベトナム及びタイを訪問し、現地の政府、公的機関、民間企業等との関係強化を図るとともに、本年3月には外務大臣との共催により、外務省飯倉公館において駐日外交官等をゲストに招きレセプションを開催するなど、様々な工夫を凝らしながら、とちぎの魅力・実力の発信に努めております。

本県におきましては、輸出先国・地域の経済活動回復等に伴い、令和3年度の県産農産物の輸出額が過去最高を記録するほか、観光につきましても、今年に入ってから外国人宿泊数実績がコロナ前の水準に近づくなどの動きが見られるところであり、引き続き、日本一の生産量を誇るいちごをはじめとする県産農産物等の輸出促進を図るとともに、国内外からより多くの方々へ本県を訪れていただけるよう、オールとちぎで取り組んでいく考えであります。

本年は、栃木県が誕生してから150年の節目となる記念すべき年であるとともに、G7男女共同参画・女性活躍担当大臣会合が日光市で開催されますことから、これらを好機と捉え、本県の魅力・実力を積極的に発信しながら、「とちぎ国際戦略」に基づく取組を推進することにより、「世界から選ばれるとちぎ」の実現を目指して参ります。